

# 図書館だより 第6号

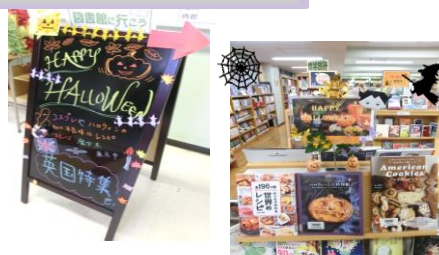
## ☆特集展示 2022年ノーベル賞特集



ノーベル賞の発表が終わりました。残念ながら日本人の受賞はありませんでしたが、生理学・医学賞を受賞したペーボ氏は、沖縄科学技術大学院大学の客員教授を務め、日本国際賞を受賞するなど我が国と関係が深い研究者です。自然科学分野3賞に加え、文学・平和・経済学賞に関する新聞記事、関連書籍を展示してあります。

### ◆ Happy Halloween!! のディスプレイ

ハロウィンに合わせて、図書館入口のブラックボードをペイント。そしてハロウィンブックを集めました。英国に関する資料も合わせて展示!!



### ◆ 11月の新着図書が入りました。是非ご利用を!!

◆ 借りた図書の返却期限を守ってください。次に借りたい人が待っていますよ!!

### 11月のカレンダー (変更になる場合があります) グレーは休館

日	月	火	水	木	金	土
		11/1	2	3 (文化の日)	4	5 土曜授業 午後閉館
6	7	8	9	10	11	12
13	14 授業公開週間(始)	15	16 生徒総会・生徒会選挙	17	18 授業公開週間(終)	19 土曜授業 午後閉館
20	21	22	23 (勤労感謝の日)	24	25	26
27	28	29	30	12/1	2	3 土曜授業 午後閉館

## 新しい本が入りました! ※別紙一覧表をご覧ください。

### 《話題の図書の中から》



『樹太一が聞く 科学の伝え方』  
樹 太一  
(東京化学同人)

TV番組の総合司会を務め、大学の研究員として新たな一歩を踏み出した著者が、サイエンスコミュニケーションについて8名の方と対談。ノーベル賞受賞の山中伸弥先生や大隅良典先生も登場。



『AI データサイエンスリテラシー入門』  
吉岡 剛志 他  
(技術評論社)

数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度のリテラシーレベルに準拠し、「社会におけるデータ・AI活用」「データリテラシー」「データ・AI活用における留意事項」を体系的に学習する入門書。Excelの基本的操作方法を学習しながら実践的な演習を行い、「データを読む」「データを説明する」「データを扱う」を学ぶことができる構成となっている。



『中野京子と読み解くフェルメールとオランダ黄金時代』  
中野 京子  
(文藝春秋)

フェルメールが生きた時代は、熱気あふれる「奇跡の時代」だった。人々は何に熱狂し、何と闘い、どれほど心豊かに生きたかが、15のテーマをもとに浮かび上がる。『怖い絵』の著者・中野京子氏が綴る「名画と西洋史」の新作。絵画40点のフルカラーを掲載。



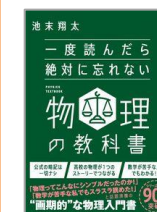
『宙ごはん』  
町田 そのこ  
(小学館)

宙には、育ててくれている「ママ」と産んでくれた「お母さん」がいる。厳しいときもあるけれど愛情いっぱいいで接してくれるママ・風海と、イラストレーターとして活躍し、大人らしくないしぐさが魅力的なお母さん・花野だ。家族の形は多様であり、宙のおかれた生活状況は、少し周りとは違っているが、その時々で家族は寄り添ってくれる。そんな家族を取り巻く物語。そしてその時々登場する料理とともに話は進む。

『その本は』 又吉 直樹、ヨシタケ シンスケ (ポプラ社)

お笑い芸人で芥川賞作家の又吉直樹氏と、人気の絵本作家ヨシタケシンスケ氏による、笑えて泣けて胸を打たれる、本にまつわる物語。いろいろな本の面白さが詰まっており、本が好きな人が作ったことがよくわかる一冊。

### 学習支援図書の中から



『一度読んだら絶対に忘れない物理の教科書』  
池末 翔太  
(SBクリエイティブ)

いくつもの公式が登場する物理の教科書。でも、じつは、物理の勉強に公式の暗記は必要ないと著者は言う。公式の暗記を排除し、1つのストーリーを読み解くように高校物理が学べる物理の入門書。

### 《リクエストされた図書の中から》



『最新 二次電池が一番わかる』  
白石 拓  
(技術評論社)

電池は社会になくってはならないデバイス、とりわけリチウムイオン電池(二次電池=蓄電池)は次世代電池として注目を集め、広く活用されている。スマートフォンやタブレット、ビデオカメラなどのポータブル・モバイル機器や電気自動車にはリチウムイオン電池が搭載。本書では、電池の基本解説から、リチウムイオン電池を含む二次電池の特徴、全固体電池など次世代電池についてわかりやすく解説。



『ピーカーくんのゆかいな化学実験』  
うえたに夫婦  
(誠文堂新光社)

実験器具たちが案内してくれる化学実験の本。学校の理科室で見たことのある楽しい実験や、研究室で味わったドキドキハラハラな実験を紹介。実験器具キャラクター図鑑の第二弾として登場、文系理系問わず一度はやったことのある気体発生実験や理系はみんなが通る道、中和滴定ももちろん収録。上方置換と下方置換ってなんだった? という方も、指示薬にトラウマがある方も、きっと楽しんで読める実験図鑑。

『小論文書き方と考え方』  
大堀 精一  
(講談社)

相手に伝わる文章は、どうすれば書けるのか。「文章を書く」ことの意味とは何か。著者の長年にわたる教育現場での経験に裏づけられた「書く」と論理的思考、そしてその相関を鍛え、自分の思いや考えを的確に他者に届ける文章の書き方を解説。「自分の言葉を持ってリアルに生きる」ための基本的教養、小論文執筆法を伝える文章読本。



『CNN ニュース・リスニング 2022[春夏]』  
CNN English Express 編集部【編】  
(朝日出版社)

1本30秒のニュースで素早く世界を知るため、合計20本のニュースを収録。  
・世界標準の英語がだれでも聞き取れるようになる方式。  
・音声はナチュラル、ゆっくり(ポーズ入り)、ゆっくり(ポーズなし)の3パターンで収録。  
・アメリカ英語、イギリス英語、オーストラリア英語のニュースをバランスよく配分。  
2022[春・夏]号の内容は、  
・羽生結弦、「氷上の王子」の座はゆずれない  
・『オックスフォード英語辞典』にKカルチャー旋風  
・「母語」と「外国語」を犬も聞き分けている! などが掲載